



## 策定の目的 「世界に誇れる総合植物園」として、牧野植物園を磨き上げ、そのポテンシャルを最大限発揮し魅力を高めます

牧野植物園のポテンシャル：①五台山の立体的な地形や眺望を活かした植物展示 ②牧野博士の植物画や植物標本といったお宝 ③植物研究

観光振興への貢献  
来園者数の増

教育への貢献  
子どもたちの探究心を育む

研究・産業化への貢献  
植物の新たな効用の発見・商品化

### 磨き上げ基本コンセプト

#### ◆ 県民の誇り(シビック・プライド)の拠点

- ・県民が誇りとし、愛する植物園
- ・多くの県外や国外の人々が訪れ、親しむ植物園

#### ◆ 宝の人材を育成する拠点

- ・自然に親しみ、探究心を育む教育の場
- ・第二、第三の牧野博士を育む世界唯一の植物園

#### ◆ 知(イノベーション)の拠点

- ・植物の価値を創出し、世界に発信する研究型植物園
- ・外部の研究機関や研究者と交流し、研究活動を高めるオープンイノベーション

### 開園60周年(平成30年)に向けて

#### (仮称)ファミリー園 憩いの場

- ・子どもから大人まで植物に囲まれて自由に過ごすことができる芝生広場
- ・眺望を活かした展望デッキ
- ・四季折々のフラワーイベントが開催できるにぎわいの場
- ・コンサート等のイベントに対応する野外ステージ



#### (仮称)スタディ園 学びの場

- ・子どもたちが植物に触れる機会を増やす参加、体験型の学習プログラムを実施
- ・実習室を備えた学び舎(学校の校外学習)
- ・一般の来園者も植物を手に取り、植物について学ぶことができる場



#### 夜間照明設備の新設

- ・温室、南園及びファミリー園に照明を常設し、夜間イベントの実施により観光客の宿泊を促す
- ・夜の植物園の拡充(現在10日程度→60日程度/年)

### 平成31年度以降の中期整備目標

#### お宝の展示・VR(既存展示スペースを改修)

##### ■ お宝展示

- ・牧野博士が作製した植物図や植物標本、蔵書などの貴重なコレクションの展示の拡充
- ・来園者が本物を感じられる場の提供  
 <收藏品> 牧野博士の植物図 : 約1,700点  
 植物標本 : 約5,500点 他
- ・企画展として、世界の植物園との交流による展示などを実施

##### ■ VR・8K(4K)映像

- ・ヴァーチャリアリティの圧倒的な臨場感と没入感で、牧野博士が作製した標本や植物図の世界をバーチャルに体験し、植物の神秘に迫ることができる場
- ・驚異的な技で描かれた牧野博士の植物図や四季を通じた植物の様子を高精細かつ臨場感あふれる映像で紹介



#### 台湾ツツジの植栽展示

##### ■ 台湾ツツジ

- ・国際的にも貴重なコレクションを園内に植栽展示

#### (仮称)新研究棟の整備

##### ■ 資源植物研究センターを建て替え、機能を充実

- ・研究領域の枠を取り払う(植物分類学と薬学の融合)
- ・国内外の企業や研究者と共同研究や交流ができる場
- ・子どもたちが研究体験を行えるメニュー(キッズラボ)
- ・研究活動や研究成果を来園者に公開する場

##### ■ 利便施設の再配置と動線の整備

- ・眺望を活かしたレストラン、ショップ等の利便、誘客施設
- ・ファミリー園と南園を結ぶ動線、南門の位置、竹林寺と南園の間の駐車スペース、休憩スペースの確保、駐車場からの動線の見直し

### 五台山の振興

##### ■ 竹林寺、五台山公園と連携した取り組みの実施

- ・竹林寺と植物園の相互交流の空間づくり

### 駐車場対策・狭隘道路の解消

- ・既存の駐車スペースでの駐車台数増と臨時駐車スペースの確保
- ・狭隘道路を拡張し、来園者の安全を確保

### 他の整備に併せて効果的に実施

#### バリアフリー化、サイン改善等

- ・園路(傾斜路、階段)のバリアフリー化推進
- ・ベンチや休憩所などの設置
- ・新研究棟へのE/V設置による園内移動の高低差解消
- ・分かりやすい案内表示への改善、多言語表記

#### 園内ガイド、職員体制

##### ■ ガイド機能の強化ほか

- ・植物の魅力、価値を伝えるガイド機能を強化(Wi-Fi活用)
- ・職員の専門性を活かしたガイドツアーの開催
- ・職員のお客様対応能力向上

### 長江圃場の津波浸水対策

##### ■ 南海トラフ地震対策

- ・展示植物等のバックヤードとなる長江圃場の貴重な植物について高台移転などの津波浸水対策を実施する。